

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成28年8月9日
【四半期会計期間】	第39期第1四半期（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）
【会社名】	株式会社ハークスレイ
【英訳名】	HURXLEY CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 青木 達也
【本店の所在の場所】	大阪市北区鶴野町3番10号
【電話番号】	06(6376)8088(代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部経理部部長 西田 治司
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区鶴野町3番10号
【電話番号】	06(6376)8088(代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部経理部部長 西田 治司
【縦覧に供する場所】	株式会社ハークスレイ 東京本社 (東京都港区浜松町2丁目4番1号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) (注)上記の東京本社は、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜を考慮して、縦覧に供する場所としております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第1四半期連結 累計期間	第39期 第1四半期連結 累計期間	第38期
会計期間	自平成27年4月1日 至平成27年6月30日	自平成28年4月1日 至平成28年6月30日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
売上高 (千円)	12,150,666	12,015,931	48,736,328
経常利益 (千円)	345,030	271,348	1,388,128
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	244,053	147,013	1,397,779
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	286,631	139,339	1,414,390
純資産額 (千円)	18,949,593	19,003,222	19,097,588
総資産額 (千円)	37,265,477	37,427,395	36,852,513
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	24.44	15.67	144.37
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	24.43	15.65	144.08
自己資本比率 (%)	50.8	50.7	51.8

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、連結子会社である北欧フードサービス(株)は、平成28年7月20日付でアルヘイム(株)に商号変更しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策を背景に、穏やかな回復基調で推移したものの、当社グループが属する「食」の分野では、デフレ懸念の継続と世界経済の停滞による消費マインドへの影響に加え、食材価格や人件費の上昇等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、持ち帰り弁当事業では、食に対する安心、安全への「こだわり」をビジネスの中心に据え、多様化するお客様のニーズにお応えすべく食材を厳選し、新商品の開発を行いました。また、「ほっかほっか亭40周年」を記念したキャンペーンを実施したほか、顧客満足度向上に繋げるための店舗従業員研修を進めてまいりました。

店舗委託事業では、優良物件の仕入、不採算店舗の解約や撤退等により、収益および利益率の向上を進め、店舗管理事業では、安定収益の確保を図ってまいりました。

このような中、当第1四半期連結累計期間の売上高120億15百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益1億63百万円（前年同期比23.6%減）、経常利益2億71百万円（前年同期比21.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億47百万円（前年同期比39.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

持ち帰り弁当事業

持ち帰り弁当事業においては、地域の人たちの豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求しております。

お値打ち感のある低価格商品を毎月発売したほか、「おろしとり天弁当」や「おろしハンバーグ弁当」等の季節感のある商品を発売し、お客様に支持をいただいております。また、ほっかほっか亭1号店が誕生してから平成28年6月にて40年となることを記念したキャンペーンを実施し、更なるブランド訴求を行いました。

この結果、持ち帰り弁当事業の売上高49億29百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益2億76百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

店舗委託事業

店舗委託事業においては、積極的な優良物件の仕入により収益基盤を強固にするとともに、引き続き稼働率および利益率の向上を図り、利益の極大化を目指しております。

この結果、店舗委託事業の売上高58億43百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益1億9百万円（前年同期比28.4%増）となりました。

店舗管理事業

店舗管理事業においては、事業用物件の仲介業務に注力し、ビルオーナーの収益機会を支援することにより、ビル管理受託業務の契約数増加を図ってまいりました。

この結果、店舗管理事業の売上高1億76百万円（前年同期比17.8%増）、営業利益1億1百万円（前年同期比16.2%増）となりました。

店舗直営事業

店舗直営事業においては、前期に導入した新たな販促媒体を活用し、来店客数に占める新規顧客比率を30%以上とするなど新規顧客獲得施策の成果が出ております。しかし、新たな定番メニューの魅力および価格見直しによる割安感の訴求を行ったものの、来店客数の増加には至りませんでした。

この結果、店舗直営事業の売上高3億25百万円（前年同期比8.8%減）、営業損失6百万円（前年同期は営業利益13百万円）となりました。

その他の事業

フレッシュ・ペーカリー事業においては、熟練のパン職人たちが腕をふるい、手づくりの焼きたてパンを提供すると同時に、一部工程では機器導入による生産性の向上も実現しております。また、イートインスペースを設けた店舗では、居心地の良い空間を演出しております。

物流関連事業においては、全国を網羅する既存インフラをベースに、グループ外企業の物流業務等の新規獲得に向けて、積極的な営業活動を展開し、複数のスーパーマーケットで独自開発商品の取り扱いを実現し、売上の拡大を図っております。

この結果、その他の事業の売上高7億40百万円（前年同期比27.5%増）、営業利益12百万円（前年同期比37.8%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億74百万円増加し、374億27百万円となりました。主な要因として、現金及び預金が6億46百万円、敷金及び保証金が88百万円それぞれ増加しましたが、建物及び構築物が1億48百万円減少したことによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ6億69百万円増加し、184億24百万円となりました。主な要因として、長期借入金が7億1百万円、未払消費税が63百万円、賞与引当金が72百万円それぞれ増加しましたが、買掛金が1億49百万円、未払金が60百万円それぞれ減少したことによるものです。

非支配株主持分を含めた純資産は、四半期包括利益1億39百万円による増加がありましたが、剰余金の配当2億34百万円による減少があったことにより、前連結会計年度末に比べ94百万円減少し、190億3百万円となりました。

自己資本比率は前連結会計年度末の51.8%から1.1ポイント減少し、50.7%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
計	33,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成28年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,025,032	11,025,032	(株)東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	11,025,032	11,025,032	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年4月1日 ~ 平成28年6月30日	-	11,025,032	-	4,036,649	-	3,906,288

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成28年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成28年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,633,500 (相互保有株式) 普通株式 23,400	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,348,600	93,486	同上
単元未満株式	普通株式 19,532	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	11,025,032	-	-
総株主の議決権	-	93,486	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,200株(議決権の数12個)含まれております。また、「単元未満株式」の欄には、自己株式74株が含まれております。

【自己株式等】

平成28年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株)ハークスレイ	大阪市北区 鶴野町3番10号	1,633,500	-	1,633,500	14.81
(相互保有株式) 株)ほっかほっかフーズ	高知県高知市 旭駅前43-4	23,400	-	23,400	0.21
計	-	1,656,900	-	1,656,900	15.02

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,779,951	6,426,753
受取手形及び売掛金	1,712,869	1,624,606
商品及び製品	517,738	554,674
原材料及び貯蔵品	141,124	125,882
繰延税金資産	273,028	278,559
その他	906,455	906,720
貸倒引当金	34,452	42,175
流動資産合計	9,296,716	9,875,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,539,745	6,391,075
機械装置及び運搬具(純額)	156,961	218,598
工具、器具及び備品(純額)	372,609	373,285
土地	11,953,176	11,943,379
リース資産(純額)	103,150	99,846
建設仮勘定	56,963	47,498
有形固定資産合計	19,182,605	19,073,682
無形固定資産		
のれん	103,219	94,566
その他	209,722	200,633
無形固定資産合計	312,941	295,199
投資その他の資産		
投資有価証券	1,706,307	1,707,059
長期貸付金	64,990	64,980
敷金及び保証金	5,539,110	5,627,507
繰延税金資産	293,179	299,369
長期未収入金	872,755	841,203
その他	446,615	473,344
貸倒引当金	862,708	829,972
投資その他の資産合計	8,060,249	8,183,491
固定資産合計	27,555,796	27,552,373
資産合計	36,852,513	37,427,395

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,240,948	2,091,113
短期借入金	1,203,240	1,186,533
1年内返済予定の長期借入金	960,700	1,010,692
未払金	1,015,035	954,985
未払法人税等	42,695	62,546
未払消費税等	72,882	136,446
賞与引当金	176,096	248,592
その他	1,742,961	1,684,575
流動負債合計	7,454,559	7,375,485
固定負債		
長期借入金	5,754,365	6,455,866
退職給付に係る負債	37,592	39,910
長期預り保証金	3,715,630	3,763,667
繰延税金負債	225,592	225,491
資産除去債務	384,827	374,717
その他	182,357	189,033
固定負債合計	10,300,365	11,048,686
負債合計	17,754,925	18,424,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,980,653	3,980,653
利益剰余金	13,218,887	13,131,114
自己株式	2,306,479	2,306,479
株主資本合計	18,929,711	18,841,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	154,733	146,939
その他の包括利益累計額合計	154,733	146,939
新株予約権	7,845	8,927
非支配株主持分	5,297	5,417
純資産合計	19,097,588	19,003,222
負債純資産合計	36,852,513	37,427,395

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	12,150,666	12,015,931
売上原価	9,343,613	9,277,836
売上総利益	2,807,052	2,738,094
販売費及び一般管理費	2,592,968	2,574,488
営業利益	214,084	163,606
営業外収益		
受取利息	1,534	1,068
受取配当金	3,699	2,994
受取賃貸料	47,268	47,814
業務委託解約益	50,045	21,135
持分法による投資利益	6,428	10,567
その他	53,037	59,247
営業外収益合計	162,013	142,828
営業外費用		
支払利息	13,381	9,858
賃貸費用	8,716	9,833
業務委託解約損	561	1,608
その他	8,407	13,786
営業外費用合計	31,066	35,087
経常利益	345,030	271,348
特別利益		
固定資産売却益	6,856	1,379
受取補償金	80,000	12,000
その他	1,300	-
特別利益合計	88,156	13,379
特別損失		
固定資産除却損	548	74,533
固定資産売却損	289	3,852
減損損失	11,550	16,255
支払補償金	65,000	-
その他	21,944	-
特別損失合計	99,332	94,641
税金等調整前四半期純利益	333,854	190,085
法人税、住民税及び事業税	90,409	54,753
法人税等調整額	1,361	11,801
法人税等合計	89,048	42,952
四半期純利益	244,806	147,133
非支配株主に帰属する四半期純利益	752	120
親会社株主に帰属する四半期純利益	244,053	147,013

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	244,806	147,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,657	260
持分法適用会社に対する持分相当額	5,167	8,055
その他の包括利益合計	41,825	7,794
四半期包括利益	286,631	139,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285,741	139,219
非支配株主に係る四半期包括利益	889	120

【注記事項】

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い(実務対応報告第32号、平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
減価償却費	241,435千円	273,430千円
のれんの償却額	8,889千円	8,653千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月23日 定時株主総会	普通株式	199,832	20.00	平成27年3月31日	平成27年6月24日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月22日 定時株主総会	普通株式	234,786	25.00	平成28年3月31日	平成28年6月23日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	5,218,569	5,844,401	150,197	356,819	11,569,987
セグメント間の内部売上高又は 振替高	55,212	3,033	-	-	58,246
計	5,273,781	5,847,434	150,197	356,819	11,628,233
セグメント利益	342,969	85,196	87,526	13,096	528,790

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益計算書 計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	580,679	12,150,666	-	12,150,666
セグメント間の内部売上高又は 振替高	664,772	723,018	723,018	-
計	1,245,451	12,873,685	723,018	12,150,666
セグメント利益	20,540	549,330	335,246	214,084

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 335,246千円には、セグメント間取引消去 4,761千円、各報告セグメントには配分していない全社費用 330,484千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	4,929,226	5,843,973	176,873	325,280	11,275,353
セグメント間の内部売上高又は 振替高	107,810	-	-	-	107,810
計	5,037,036	5,843,973	176,873	325,280	11,383,163
セグメント利益又は損失()	276,587	109,399	101,716	6,983	480,720

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益計算書 計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	740,577	12,015,931	-	12,015,931
セグメント間の内部売上高又は 振替高	627,707	735,517	735,517	-
計	1,368,284	12,751,448	735,517	12,015,931
セグメント利益又は損失()	12,777	493,498	329,891	163,606

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 329,891千円には、セグメント間取引消去 4,111千円、各報告セグメントには配分していない全社費用 325,780千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	24円44銭	15円67銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	244,053	147,013
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	244,053	147,013
普通株式の期中平均株式数(株)	9,984,047	9,383,659
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	24円43銭	15円65銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	5,395	9,214
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年 8月 9日

株式会社ハークスレイ

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山本 操司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 押谷 崇雄 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハークスレイの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハークスレイ及び連結子会社の平成28年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。